……これは、罰なのでしょうか？
主よ、どうか教えてください

私の名はミーナ
この修道院でシスターとして神に仕えながら暮らしています
生まれ落ちてすぐ、この修道院に預けられて暮らしていた為、
両親の顔も名も知りません

何故、両親が赤ん坊の私を修道院に預けたのか
それは恐らく私が、女性でありながら男性の性器を持つ、
ふたなりとして生を受けたからでしょう

このことを知るのは、修道院の院長と私だけ
ふたなりであることを差別せず、平等に接し
ここまで育ててくれた院長には感謝しかありません
当初抱いていた不安や恐怖も、今ではその影もありません

主によってもたらされた巡り合わせによって私は生きている
しかし、それでもなお疑問に思わずにはいられないのです
何故、私はふたなりとして生を受けたのか……

――今日も、お答えしては頂けないのですね
私の身の、不浄なるモノについて……

……ミーナさん？ ミーナさんー？
バタバタ
静粛に、神の御前ですよ
わっ、ととっ……すいません、ミーナさん
いいのですよルゥ

それで、私に何か用事ですか？
あ、はい！
実は来週の式典に使う木の実が足りなくって……
あぁ、確かに数が減っていましたね

分かりました
午後に私が森に採りに行ってきましょう
教えてくれてありがとう、ルゥ
？
……あの、そのことなんですけど

私もミーナさんに同行しちゃダメですか!?
まだまだ未熟なのは分かってます
でも、ミーナさんの助けになりたくて……
……気持ちは嬉しいです、ルゥ

でも、森には危険な魔物が出る可能性もあるのです
だから、もう少し大人になるまで、ね？
……うぅ～！　私だって、もう大人です！
木の実を採りに行くぐらい、私にだって……

森だって最近は平和じゃないですか
それでも、少しでも貴方に危険が及ぶ可能性があったら
それを許すわけにはいかないのですよ
だから、ごめんなさいね？ルゥ

ミーナさんは意地悪です……
ふふ、それじゃルゥには式典用の道具の手入れをお願いしていいでしょうか？
大事な仕事、ルゥになら任せられます
……！　勿論です！　私に任せてください、ミーナさん！

じゃあ、私、早速取り掛かりますね！
ミーナさんも、木のみ集めお気をつけて！
クスッ
ふふ、相変わらず元気な娘……

あぁ、私は何を悩んでいたのでしょう
己の身がふたなりであることなど、些末なこと
私はここで、院長やルゥ、そして主の愛を受けて暮らしている
それでいいではありませんか

あぁ、願わくばこんな毎日が
ずっと続きますように――

まさか、森のこんな場所にまで、
魔物が出てきているだなんて……！

ふっ……！ぐぅ……っ！
グッ…
くっ、触手が手足に、絡み、ついて……ッ！
ムっ
四肢の自由が、効かない……！
……これでは、もう逃げられない

私は、きっとこの魔物に食べられてしまうのでしょうね……
あぁ、でもよかった、ルゥがこの場にいなくて……
あの娘がここにいたら、私は自分を許せなかったでしょう……

主よ、どうか私の声が聞こえているのなら……
ルゥや、修道院の皆が平穏に暮らすことが出来ますように……
キッ
……さぁ、これで覚悟は出来ました
私を食べるのなら、さっさと食べなさい！

――って!?
何をしようとしてるのですか!?
"
や、やめなさい!
そこは、私の、その、おちんちん、ですよ……っ!?
ビクンッ
てろ~
ビクッ

その、触手は一体なんですか……!?
まるで、おちんちんを丸呑みするために
作られたかのような、卑猥な、形状……!
シスターとして清廉潔白、
いかなる不浄も払い、私は純潔を貫いてきたのです!
ハァ♥
ドキ♥
ハァ♥
ドキ♥
どろぉ～♥
ビク♥
ビク♥

快楽の萌芽すら、未だ知らぬ、私の、おちんちんを……！
そのような、淫らな、モノで、辱めるなど……！
絶対に、あっては、ならな――
ドキ♡
フー♡
フー♡
ドキ♡
あ～ん♡
ビク♡
ビク♡

ぐっぽぉっ❤❤❤ぐちゅう❤
あぁあああああっ!?❤❤❤
おぉっ
おほっ
な、なんっ、ですかっ❤これはぁっ❤
かぷっ
ぐぽっぐちゅ
ビクンッ

これっ❤がっぁっ❤かい、らくぅ❤❤❤
おち、おちんちんっ❤がぁっ❤
こん、にゃっ❤きもちっ❤
よかった、なんてっ❤へぇっ❤
フー♡
フー♡
ドキ♡
ドキ♡
ムぽっ
ムぽっ

自分で、弄ったことすら、ないっ❤
敏感おちんちん、なのにぃっ❤
触手にっ❤ 丸呑みされてぇ❤
凌辱されちゃってるぅっ❤❤❤
ビクッ
ハッ
まだイッ♡
ハッ
おほぉ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ

はぁっ❤やぁっ❤らめぇっ❤
おちんちん、ぐちゅぐちゅ、だめっ❤
ぬぷぬぷっ❤シコシコっ❤し、ちゃっ❤
我慢、できなく、なって……ええっ❤
なにか、クるっ❤キ、ちゃっ❤❤❤
ビク
フー
ビク
フー
ボボボ

ほっ♡
おっ♡
ほぉっ♡
イグイグ
ぶっ
ぶるぶる
ぶるっ
ぶるるっ

はぁ……❤ はぁっ❤
これが、射精っ❤ これが、快楽……っ❤
こんな、悦びが、この世にあった、なんて……❤
なんて罪深き行い、なのでしょう……❤

その後、魔物は何度も何度もおちんちんを弄り尽くし、
私の精を貪りました……
十分に精を吸って満足したのか、
魔物は私を解放するとどこかへ消えていきました……

息も絶え絶えに、疲れ切った私が修道院へ帰ったのは、
もう日も暮れようという頃……
ミーナさん!?
ん～～～
あぁ、ルゥ……
す、少し、帰りが遅くなりましたね……

どこか悪いのですか？
顔色が、それに衣服もこんなに汚れて……
も、森で少し、その、転んでしまいましてね……
そんな！大丈夫ですか！？

とにかく、怪我の確認と治療をしなきゃ……
……ッ！　触らないで！
ビクッ♡
ミーナ、さん……？
ギュッ！
……大丈夫、大丈夫ですから、ね？

久々に森に入って疲れただけですから……
……少し、休みます
ドキ♡
ドキ♡
心配かけてすみませんね、ルゥ
は、はい、ご無事なら、私はそれで……

はぁ……❤ はぁ❤
なんという、こと……！
ガチャ
今、私はルゥに、劣情を抱いたのですか……？❤
本気で、私は……っ！
ハーン
ハーン
ドキン
ドキン

私を姉の様に慕ってくれている、ルゥを……！
自らの、おちんちんでっ❤
ぐちゃぐちゃにっ❤
犯して、しまいたい、と❤
フーッ♡
フーッ♡
びくっ
びくっ♡

あのままでは、恐らく、無理矢理にでも押さえつけて……っ❤
あぁっ！なんということでしょう！
魔物に襲われ、その邪気にあてられて
自らもケダモノに成り果ててしまっただなんて！
ハッ♥
ハッ♥
ビク♥
ビク♥

と、とにかく、この邪念を払う為にも、
一度、欲望を吐き出してしまわねば……

さっき、魔物に搾られたばかり、なのにっ❤
また、こんな、大きくなっているだなんてっ❤
びくっ
びくっ

はぁっ❤ はぁ❤
指の中で、びくんびくんっ❤ って❤
暴れて、るぅっ❤ 私の中の、邪念がっ❤
びゅるびゅるっ❤ 溢れたがってぇ❤
ハァ♡
ハァ♡
ドキ♡
ドキ♡
ジコ♡
ジコ♡
グチ♡
グチ♡

主よ、これは、罰なのでしょうか❤
魔物とまぐわい、邪念に塗れてしまった私への❤
いや、罰だったら、こんな気持ちいい筈無いですよねっ❤
だから、これは、きっと良いことぉっ❤
あはっ♡
はー♡
はー♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

こんな、モノを私は今までっ❤
股間に、ぶら下げていたのですねっ❤
こんな、きもち、いいものをぉっ❤
はぁっ❤ おちんちん、きもち、よすぎてぇっ❤❤❤
ビクッ
ビクッ
フッフッ
ガクッ
ガクッ
ゴチュゴチュ
ぶぴゅ

また、びゅるびゅるっ❤ でちゃあああっ❤
びゅるるっ
びゅっ
ぶぴっ
お゛っ
お〜っ
あぁあああああっ❤❤❤

あっ❤ はぁっ❤ ……はー❤
これは、しかたのない、こと……❤
ルゥを、皆を、襲うわけには……❤
だから、こうして、吐き出さないと……っ❤
ビクッ
ビクッ
フー♡
フー♡
ガクッ
ガクッ
びくっ
びくっ
びくっ♡

それから私は、毎日、精を吐き出すようになりました
朝、目が覚めた時、昼食の後、午後の礼拝が済んだ後
そして、夜に至るまでの一日中……
おちんちんが大きくなってしまった時は、必ず
人目を離れ、行為に及びました

そして、今日もまた……
ルゥ……っ❤ルゥっ❤
しこ♡
しこ♡
びくっ
びく♡

あぁっ❤ 人目が無いとはいえ、自室の外でっ❤
このような、行為に及んでしまうだなんてっ❤
私は、なんと罪深い存在なのでしょうか❤
ドキ
フフッ
ドキ
ぷるんっ
しこ
しこ
フリ
フリ
グチュ
グチュ

ルゥのことを考えながらっ❤
おちんちんを弄るのが、こんな気持ちがいいだなんてっ❤
はぁ❤シコシコきもちいい❤
ルゥでシコシコきもちいいっ❤
ビクッ
フーフー
ビクッ
グチュ
グチュ
グチュ

はぁっ❤ルゥのおまんこっ❤
ルゥのおまんこにぃっ❤
おちんちん、直接ぐちゅぐちゅできたらっ❤
どんなにっ、気持ちいいことでしょう❤
ハァ ハァ
ありがとぅ♪
ビクッ
ビクッ
ぐちゅっ
にちゃっ
ぐちゅっ
ヘコ
ヘコ

でも、ダメっ❤ それだけはっ❤
しちゃダメ、なのですっ❤
だからっ、こうしてっ❤
ルゥシコでぇっ❤ が、まん、してぇっ❤❤❤
ビクッ
ビクッ
フーフー
フーフー
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ

あっはぁっ❤
ビクッ
ビクッ
がまん、できなっ❤ あぁっ❤❤❤❤
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

はぁっ❤ダメっ❤
ぜんぜん、おさまらなっ❤
ルゥっ❤ルゥ❤おちんちん、入れたいよっ❤
おまんこ、私のおちんちんで、ぐちゃぐちゃにしたいよぉっ❤
ズキッ
ハーッ
ハーッ
ズキッ
くちゅっ
しこっ
しこっ
ガクッ
ガクッ

今、この場にルゥが来たら、私、絶対我慢出来な……
ミーナ、さ、ん……？
その、身体、は、一体……？
――――ッ♥♥♥

や、めってっ、くださ……っ！
ミーナ、さん……どう、して……！
ごめんねルゥ❤
もう、我慢の、限界なんですっ❤
ぐぐぐ
ぷぴっ

ぐぅっ！はぁ……っがぁっ……！
これがっ❤夢にまでみた、ルゥのおまんこっ❤
入れただけでっ❤精が溢れてしまいそうっ❤
なんで、こんな、こと……！
ハァ♡
ハァ♡
ああ♡
ブポッ
ズブポッ
グッ

男性のモノが、なぜ、ミーナさんに……
ふふ、生まれつき私はふたなりだったんですよ❤
主によって、おちんちんを与えられたのです❤
そう、これは主の意思なのです❤
ドキッ
ドキッ
んっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

ようやく気づくことが出来ました❤
私がルゥに欲情していることも❤
ルゥのおまんこに、おちんちんをぶち込みたいと思うことも❤
全ては主の意思だったのですね❤
ミーナ、さん……？
フー♡
フー♡
ぱん♪
ずぱん♪
ぱん♪
ずぱん♪

ですから、恐れることはありません❤
主に従い、おちんちんを受け入れるのです❤
はぁっ……！な、にを……っ！
パン
パン
パン
ビクッ♡
ビクンッ♡
はっ♡
はっ♡
とっても気持ちいい締め付けですっ❤
ぁあっ❤いいですよルゥ❤

ルゥがあまりにキツく締めるものだから♥
おちんちんが、もう、限界ですよっ♥
ひっ……！びく、びくって、脈打って……！
パン
パン
パン
パン
ほっ♥
おおっ♥
ハー♥
ハー♥
ビク♥
ビク♥
あぁ♥出ますっ♥出ますよっ♥ルゥ♥

さぁっ❤主の御心を❤
その身体で受け止めなさいっ❤❤❤
はっ♡
はぁっ♡
びゅるるっ♡
びゅるるっ♡
びゅ
びゅ

どうです❤ 気持ちよかったでしょう❤
そんな、ことっ……！
こんな、くるしい、だけで……
どうしました？ ルゥ❤
これは罰ではないのですから、素直に楽しんで良いのですよ❤
ドキン
ドキン
ガクン
ガクン
どぷっ
どぷっ
びゅ～っ

ミーナさん、元に、戻って、くださ……
……混乱しているようですね
大丈夫、私も初めはそうでした
え……？
数をこなしていくうちに、慣れていきますよ❤

さぁ、私の自室に場所を移して、更に深く愛し会いましょう❤
や、ぁあ……っ!? そん、な……
ふふ、私達2人で、新たな教義を紡ぐのです❤

あっ❤がぁっ❤や、めっ❤ぇっ❤

ズブッ♡

グボッ♡

どうっ❤ですかっ❤

ルゥも理解っ❤できてきましたかっ❤

からだっ❤ びりびり、してぇっ❤
なに、これぇっ❤ しらないぃっ❤
パンッ
ズボッ
パンッ
ふふ❤ わかってきたようですねルゥ❤
これこそがっ❤ 性の悦びですっ❤

全ては主の、おちんちんの意思のままに♥
ルゥとこうしてぐちゃぐちゃに、深く混じり合うことも♥
全ては決まっていたことなのですっ♥
パンッ
パンッ
パンッ

だからっ❤ 安心して、二人で堕ちましょう❤
深い快楽の底にっ❤ 帰ってこれなくなる程に❤
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ケダモノになって、永遠に愛し会いましょう❤❤❤
ぁ、あぁっ❤ ミーナ、さぁん……っ❤

ขอโทษนะ
ที่ทำให้ต้องรอ
ขอโทษนะ
ที่ทำให้ต้องรอ
ขอโทษนะ
ที่ทำให้ต้องรอ

あぁ、主よ、感謝します❤
このような身体で生を受けさせてくれたことを❤
お…
お…
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
主の御心、そして、私の役割……
今、全てを理解しました❤

今日より私は、愛の伝道師
ふたなりシスターミーナとして❤
世に、主の教えを説いていこうと思います❤
fin